

# アート活動による福山本通り商店街の にぎわい創出に向けた実践的研究

研究代表者 福山市立大学教育学部 渋谷 清

研究協力者 sankaku Gallery 代表 和田道雄

# 研究背景—福山のアート事情(美術館等)

■1988年 **ふくやま美術館**(西町)が開館

※中央公民館(花園町・1972-2007),市民会館(霞町・1966-1995)

リーデンローズ(松浜町・1994-),ローズコム(霞町・2007-),

**ふくやま書道美術館**(西町・2003-)

■**天満屋福山店**(元町),**しぶや美術館**(本町)

■福山城博物館(丸の内),県立歴史博物館(西町),

ふくやま文学館(丸の内)

# 研究背景ー福山のアート事情(ギャラリー等)

## ■ 減少する街中のギャラリー

イマイ画廊(三之丸),バンカム(御船町),  
葵画廊(今町),ギャラリー小川(延広町),  
展ギャラリー(伏見町→西町→旭町→沖野上町),  
霞画廊(霞町),アポロ(伏見町),  
翌檜(アスナロ・三之丸),白バラ(元町),  
西町ギャラリー(西町),ワタナベ画房(東町),  
画廊ミソノ(現:スペース甦謳る・東町),  
ギャラリーくわみつ(大黒町),福山天満屋美術画廊(元町)

# 研究背景—Sankaku Gallery について

■ 昨年の5月、本通船町にあったシャッターの閉じたかつての店舗を改修し、ギャラリーとして新たにオープンした。この建物はオーナーである画家/和田道雄さんの生家でもあり、「作家の中には、才能があっても居場所がない、仲間がない、手応えがないことで活動が続かない方もいる。繋がりを作れる、情報を得る、励みになる、そんな場所にしたい。」との思いで、イラストレーターでもある奥様と一緒にDIYで内装を仕上げながらオープンに至る。作品の展示販売の他にも、作りたい、学びたい、教えたい、見せたい人の活動を広げるための、ワークショップ・教室・ミニコンサート等にも使える通りに面した大きな窓からの光が入り込むとても開放的な空間である。





# 研究背景—福山本通り商店街について

■ 福山駅から徒歩7分の場所に位置する福山本通商店街は、水野勝成公が福山城を築城した約400年前から「とおり町（とおりちょう）」の名で親しまれている歴史ある商店街である。

■ 2016年に老朽化したアーケードの撤去改修事業が行われ、開放的な公園のようなストリートスケープへと変化つつある。しかしながら、古びた薄暗いアーケードを取り除き、明るく開放的な商業空間となったものの、依然空き店舗も目立つ中、商店街としてのにぎわいを取り戻すまでには至っていない。



# 研究目的と 方法

■ 福山本通商店街の一角に、2022年5月から新たにアートの拠点(あるいは交流の場)となるべくSankakuギャラリーがオープンした。

本研究では、Sankakuギャラリー代表者の研究協力を得ながら、同ギャラリーにおける開廊以降の活動状況の把握や実践活動（作品展示発表やワークショップ等含む）を試行する中で、福山本通り商店街のにぎわい創出につながるようなアート活動の具体的方策について検討することを研究目的とする。



creative picture book and Woodwork

# 創作絵本と木工オブジェ

福山市立大学教育学部3年生による授業作品展

2022年7月20日(水) - 7月24日(日)

12:00 - 19:00 最終日は17:00まで

サンカク  
sankaku  
Gallery

720-0043  
広島県福山市船町5-11  
TEL : 070-3775-3339  
mail : info@3sankaku.com  
Open : 12:00 - 19:00



創作絵本と木工オブジェ  
—福山市立大学教育学部3年生による授業作品展— 2022年7月20日(水) - 7月24日(日)



## ■ 実践事例①

### 創作絵本と木工オブジェ

福山市立大学教育学部3年生による授業作品展

会期：2022年7月20日(水) - 7月24日(日)

出品者：絵画造形表現特論受講者21名

出品作品：創作絵本21冊, 木工オブジェ21展 計42作品

来場者数：56人



# 創作絵本と木工オブジェ -福山市立大学教育学部3年生による授業作品展-





## ■ モダンテクニックを 使って創造的な絵本作る

展示作品は、2022年4月から5月にかけて、授業科目「絵画造形表現特論」を受講した、教育学部 児童教育学科3年生たちによる創作絵本です。

「絵本作り」には、いろいろなアプローチの方法がありますが、ここでは絵本の話をも最初に考えるのではなく、絵本場面の候補としての画面作りを先行させました。使用した様々なモダンテクニックは、作り手はもちろんのこと、読み手にも受けるイメージの広がりを感じて期待してのものです。絵本の画(場)面が単なるお話の説明のみにならないよう、特に次の点を意識しながら制作を進めました。

- 画面からイメージを広げてストーリーへと展開すること。
- いろいろなモダンテクニックを体験し、できた画面から発想を広げること。
- 得られた複数枚の画面から、各自のストーリーに応じて場面編集すること。
- 手作り絵本として、しっかりと製本すること。

モダンテクニックから偶然得られた図像を、柔軟に解釈したり、時には補筆や加筆をしたり、はたまた少し強引にこじつけたりと、様々な工夫をしながら、それぞれ実にユニークな話が紡がれています。どうか絵本を手にとってご覧ください。



# 創作絵本と木工オブジェ -福山市立大学教育学部3年生による授業作品展-





## ■ 身近な素材を使って 親しみのある造形物を作る

展示作品は、2022年5月から6月にかけて、授業科目「絵画造形表現特論」を受講した、教育学部 児童教育学科3年生たちによる木工オブジェです。

手をかけてゆくにつれ、古びた木片の表情も様々に変化し、だんだんと親しみがわいてくるようなそんな造形物を作りました。素材の加工にあたっては、小学校図画工作科の中で使用する用具や道具を駆使しながら制作を進めました。切ったり・削ったり・彫ったり・穴あけたり・磨いたり・色付けたりと慣れない扱いに苦労しながらも、それぞれにとっての愛着が伝わってくるような造形物ができました。どうかやさしく手にとってご覧ください。

主に使用した用具・道具

- のこぎり ■小刀 ■彫刻刀 ■クランプ ■削り台
- 滑り止めシート ■木工ドリル ■木工やすり ■紙やすり
- ろうそく ■絵具



## 実践事例②

### 渋谷 清展

油彩絵画による作品展

会期：11月23日(水)－11月27日(日)

出品者：渋谷 清

出品作品：油彩絵画3作品

来場者数：128人

SHIBUYA Kiyoshi Exhibition

# 渋谷 清展

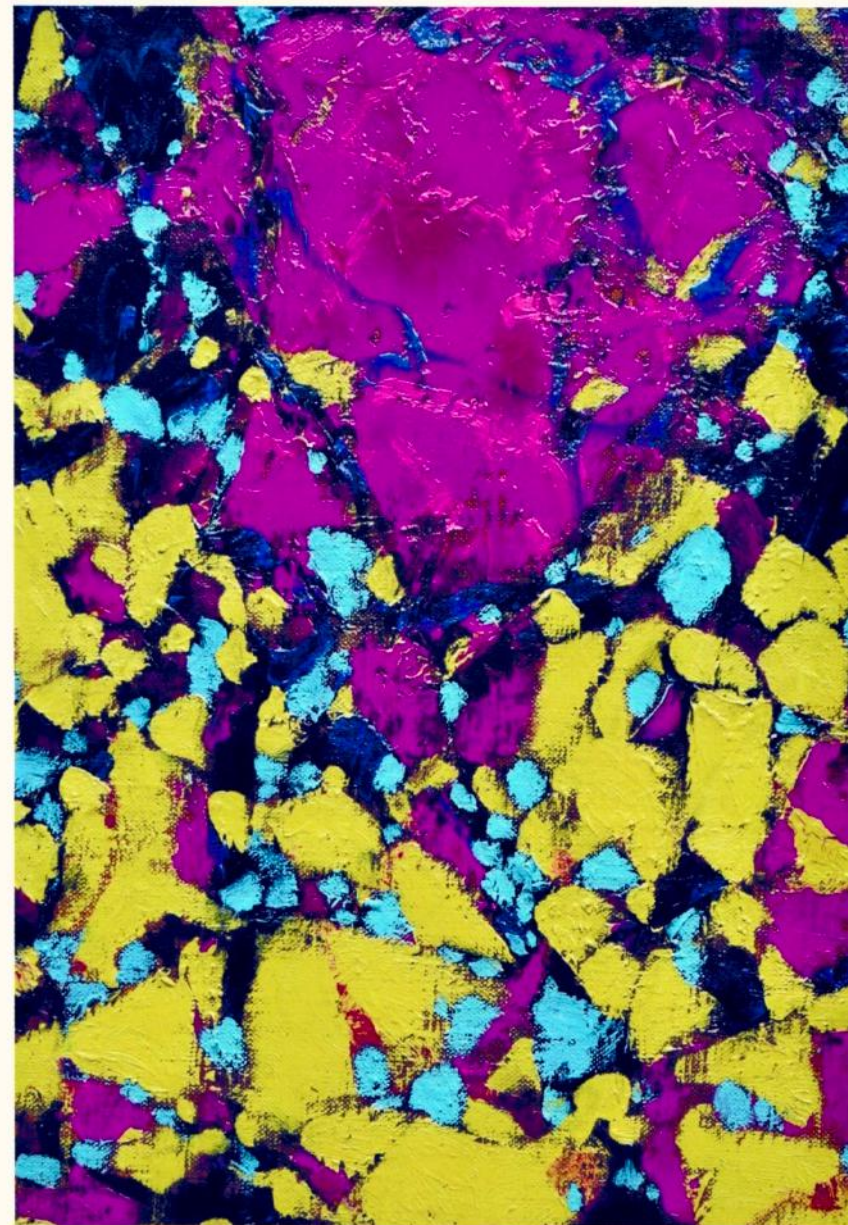
－ヒカリノカタチ－

2022年11月23日(水)－11月27日

12:00－19:00 最終日は17:00迄

サンカク  
sankaku  
Gallery

720-0043  
広島県福山市船町5  
TEL：070-3775-3  
mail：info@3sankaku.com  
Open：12:00－19:00  
定休日：月、火



SHIBUYA Kiyoshi Exhibition

2022.11.23(Wed.)－11.27(Sun.)



■ 渋谷 清 展ーヒカリノカタチー 2022.11.23-11.27





# 手のひらのアート展

2022年12月7日(水) - 12月11日(日)

12:00 - 19:00 最終日は17:00まで

サンカク  
sankaku  
Gallery

720-0043  
広島県福山市船町5-11  
TEL : 070-3775-3339  
Mail : info@3sankaku.com  
Open : 12:00 - 19:00  
定休日 : 月, 火



<https://3sankaku.com>



## 実践事例③

出品者 : 地域の作家19名  
出品作品 : 手のひらサイズの  
立体や平面作品  
来場者数 : 155人

小さな  
アートの  
ある  
くらし

サンカク  
sankaku  
Gallery



19名の作家による  
手のひらサイズの作品展

2022/12/7 (WED) - 11 (SUN)

12:00 - 19:00  
最終日は17:00まで

足立陽子  
おおおかなつこ  
大沢純子  
岡孝博  
岡田和利  
高地秀明  
酒井一樹  
渋谷清  
瀬尾佳枝  
田窪薫  
田辺治通  
橋野仁史  
長谷川雅敏  
浜本千尋  
ヒロエカナコ  
牧原竜浩  
松本静夫  
満つ  
和田道雄





©SHIBUYA Kiyoshi



# Sankaku Galleryで催された展示と来廊者数

(2022/05/18-2023/04/09)

	展示タイプ	日程	来廊者数
	個展A	2022/05/18-22	94
	個展B	2022/05/25-29	82
	グループ展A	2022/06/22-26	125
	個展C	2022/07/06-10	82
	個展D	2022/07/13-17	106
※	グループ展B (創作絵本と木工オブジェ)	2022/07/20-24	56
	個展E	2022/07/27-31	95
	個展F	2022/08/03-07	46
	グループ展C	2022/08/25-29	58
	個展G	2022/09/07-11	85
	グループ展D	2022/09/21-25	85
	個展H	2022/11/02-06	188
※	個展I (渋谷清展-ヒカリノカタチ-)	2022/11/23-27	128
※	グループ展E (手のひらのアート展)	2022/12/07-11	155
	個展J	2023/03/22-26	74
	個展K	2023/04/05-09	154
		合計	1613
		平均	100.8125

※展示実践事例

(資料提供：Sankaku Gallery)

■ 考察①ー

ギャラリー  
運営からの  
視点で

ギャラリーオープン以降17本の展示活動実績

継続的な広報活動の必要性(ギャラリーと展示等の周知)

オープン後の1年目は“種まき”の期間ととらえている

市立大学学生への期待



## ■ 考察②ー

# 実践事例 から見えてきたこと

ギャラリーに入ることへの“敷居”の高さ

展示することへの期待感（⇔不安感）→授業課題に対する動機づけ

授業成果を学外に公開する(知ってもらう)ことの意義

展示活動をすることで生まれる地域とのつながり

# ■ 福山本通り商店街のにぎわい創出に向けて—具体的方策

①美術館のみならずギャラリーに対する再認識

②子どもたちが気軽に立ち入れるような仕掛け

③展示関連企画のワークショップ実施

④ギャラリースペースでの幅広いイベント企画

⑤“地域にあるギャラリー”を意識した企画展示





# 引用参考文献・謝辞

福山文化連盟『福山文化連盟創立70周年記念誌』2018年

福山市市制施行100周年記念事業推進委員会『福山の美術100年展』2017年

佐々田憲一郎『福山洋画史』1978年

## 謝辞

本研究を進めるにあたり、展示会場へご来廊いただいた多くの方々はじめ、聞き取りにご協力いただいた作家・ギャラリー・美術関係者の方々に心よりお礼申し上げます。

ご清聴ありがとうございました。